

# 校長室だより



【6年生奉仕作業】

豊川市立東部小学校

令和6年3月15日

## 6年生への思いが伝わる送る会

1～5年生が待つ体育館に、6年生が一人ずつ、紹介を受けながらステージ上から登場し、6年生を送る会が始まりました。その後、各学年から順々に歌や言葉などで、6年生への思いが伝えられました。5年生は、「ろうかを走っている下級生を注意してくれる」などの6年生のよいところを、寸劇を交えて発表しました。4年生は計算の速さや二重跳びで6年生に挑戦しましたが、やはり6年生にはかないませんでした。歌を歌う学年があると、他の学年から自然と手拍子が始まり、6年生のためにみんなで会を盛り上げようとする気持ちが伝わってきました。学年発表の最後は1年生でした。感謝の気持ちを伝えるよびかけの最後に「おんぶしたり、ぎゅっと抱きしめたりしてください」の言葉があり、一斉に6年生のところに走りました。6年生もそれに応える温かな場面がありました。始まりから終わりまで、6年生の笑顔がどんどん増えていくようなあったかな会になりました。送る会を対面で行ったのは5年ぶりですが、この会は全校が入って行うことに大きな意味があると感じました。



## 児童会の取組「キラキラ東部小」

児童会では令和2年度以降、「元気にあいさつ」「きれいにそうじ」「(学ぶ・遊ぶ・考えるの) 東部小スイッチ」を3本柱に、役員呼びかけにより「キラキラ東部小」をめざした取組をしています。今年度は学期ごとに3本柱についてどの程度できているかのアンケート調査を行い、実態を把握しながら、よりよい学校にしようと工夫した運動に取り組んできました。

2学期の調査では、「東部小スイッチ」が課題としてあがり、にこにこ集会で学年ごとにまとめた調査結果を示した上で、「みんなで放課と授業などの切り替えをがんばりましょう」と、役員からの呼びかけがありました。

3学期始めの調査では、そうじへの取組が課題として上がりました。3年生以上が集まる児童総会の議題として取り上げられ、熱心な意見交換がされました。「「しゃべらずに」「隅々まで」「人目につかないところまで」「時間の最後まで」など、100点満点のそうじにするために大事なポイントが意見として出されました。この話し合いを通して子どもたちの意識が変わったようで、翌日から、取り組む様子に変化が見られました。



## 大人ちよボラ隊のみなさん、1年間、ありがとうございました

コロナの影響により活動を休止していた大人ちよボラ隊の活動が、今年度からバージョンアップして再開されました。家庭科の裁縫や調理実習、図工の授業、5年生福祉実践教室の指導補助、水泳授業の監視、2年生校外学習の引率補助などで助けていただきました。例えば、裁縫や調理実習の授業では、教科担当教員だけでは指導の手が足りないところを、家事のプロであるお母さん方の手を借りられ、とても助かりました。教えてもらいたい子どもの待ち時間が大幅に減り、充実した授業になりました。また、水泳授業では、授業者以外に児童の安全管理のための監視員が必要です。ちよボラ隊に助けていただき、とてもありがたかったです。ご協力いただいた方からは「楽しい」「子どもたちがかわいい」「先生たちががんばっている様子がよくわかった」「東部小の子どもたちに対してもっていたイメージが(よい意味で)変わった」など、参加してよかったという意味の感想をいただいています。来年度も募集のご案内をしますので、ご検討いただければ幸いです。



## 児童会旗を新調しました

毎朝、児童会役員が運動場に掲げている「児童会旗」が古くなり、旗の周囲がほころんできたため、新しいデザインを児童から募集していました。全校児童の投票によって選ばれたのは、堀内望玖さん(5年生)の作品です。

3月5日のにこにこ集会で、全校児童に紹介されました。

